

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2002-89647(P2002-89647A)

【公開日】平成14年3月27日(2002.3.27)

【出願番号】特願2000-284019(P2000-284019)

【国際特許分類第7版】

F 16 H 15/38

B 23 B 5/00

【F I】

F 16 H 15/38

B 23 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月5日(2005.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

フロント側キャビティ2及びリヤ側キャビティ3の入力ディスク4,5は主軸1に対してボールスライド10によって回転係合し、軸方向に移動可能になっている。また、リヤ側キャビティ3の入力ディスク5はローディングナット11によって抜け止めされている。さらに、フロント側キャビティ2の出力ディスク6及びリヤ側キャビティ3の出力ディスク7は主軸1に対して回転自在に嵌合された嵌合筒部13に対して背中合わせ状態で結合されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このローディングカム14を貫通し、入力側に突出する主軸1の端部には鍔部16が設けられ、この鍔部16と対向するローディングカム14との間には環状空隙部17が設けられている。そして、この環状空隙部17には主軸1を回転自在に軸支する転がり軸受18が設けられている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図1及び図2は第1の実施形態を示し、図1はダブルキャビティ式ハーフトロイダル型無段変速機のフロント側キャビティ21を示し、図2はリヤ側キャビティ22を示す。図1に示すように、フロント側キャビティ21は、主軸23の端部には鍔部24が設けられ、この鍔部24の外周には転がり軸受25を介してローディングカム26が設けられている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

